

あるがかう自分達のものとして眼近くに観るのは又大きな喜びである。ここに傳書鳩なるこそそれからそれへこ話し

手
技

第一週

自由畫 二回

夏休み中海岸に遊び、山に遊びし印象、又は家庭での面白き遊びの印象を自由畫としてかゝせる。夏休み中に畫きしものなご幼稚園に、もつて來ればこれなごも部屋に一緒に飾つて、小展覽會を開く、

朝顔

幼稚園の庭に咲く朝顔を寫生したり、花數輪、葉數葉を淺き鉢なごに水を入れてさしてかゝせたりする。

鈇仕事

朝顔 一回

自由畫と同様、朝顔の花の實物を、花瓶にさして幼児に觀察させながら、切らせる。

外側は色の紙にて切り、中心はその色紙を裏がへして小

乍ら面白く觀察させられる。

さく丸くきる。葉は中央大きく、兩側少し小さく、三つに裂けてゐればよいのである。

ぬりゑ

朝顔 一回

花の色は、幼児の好きなものにする。茶色なごをさける事を話す。

第二週

自由畫

年長組の繪の鑑賞

夏休み中のいろくくの自由畫も、幼稚園がはじまつてからの繪も交せて飾つてみせてもらう。保姆が出来るだけ少人數の幼児を連れて（二組を幾度かに分けて）繪の説明をよくする。

粘土 一回

栗 お月見のお團子 果物

お月見のお話により、お月様に供へる種々のものを語りあひ、そのうち幼児の出来そうな、栗、柿、きぬかつき、なごつくる、出来たものはお三寶、或はお盆にのせる。

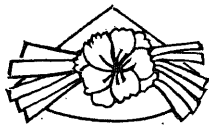
ぬりゑ コスモス 一回

コスモスの花は幼児の任意にぬらせ細き葉はその畫きたる黒の線をたぎつて緑色の色鉛筆でかゝせる。

製作

祭禮の花傘 二回

ボール紙のあまり厚くないものを選び、直径三〇センチ位の圓形に切る。



これを中心から一方の半徑だけ切つて圓周で二センチ位重ねて糊で傘の形にはりつける、その傘の上に、赤い色紙で花をつくつて、はりつけ、五色の色紙を適當にはりつける。

花傘を四つ五つつくる

自由畫 自在 一回

鉄仕事 柿 一回

柿の實の橙色、へたの緑色の色模造紙を用意して、柿の實の形を切らせる二つ或は三つ切つてはる。

ぬりゑ カキ 一回

柿の實物を見てぬらせる。

粘土 柿

實物より餘程小さくなる心配あれば、出来るだけ大きく作る様注意する。

製作

祭禮の花傘 ツギキ 一回

前週につくりし花傘に紙テープにてあごの下に結べるやうに傘の上より二本紐をつける